令 和 6 年 度

事業報告書

社会福祉法人　福岡県母子福祉協会

母子生活支援施設　室 見 寮

目　　次

１．令和６年度 事業報告

（１）事 業 概 況

（２）参 考 資 料

① 令和６年度 事業実績報告書

② 令和６年度 年間行事／会議・研修実績

１．令和６年度 事業報告について

（１）事業概況

令和７年３月31日現在の入所は38世帯で、定数50世帯に対して１年を通しては平均39世帯が入所し、充足率は８割程度であった。室見寮の機能や特徴について、福祉事務所に相談に訪れる母子にわかりやすく伝える手段として、施設のパンフレットを県内福祉事務所に配布するとともに、福祉事務所職員と県内母子生活支援施設職員との合同研修会では、入所後の支援内容や実際の事例紹介などを行った。

また、地域社会への貢献活動として、支援が必要な地域住民等延べ206世帯659人に食支援を実施した。さらに室見寮と地域とのつながりを深めるため、７月から地域の子ども食堂の運営に携わり、職員の専門性を活かした相談支援にも着手した。

① 事業活動について

ア　管理運営について

（ア）緊急一時保護など突然の入所にも対応できるように常に受け入れ態勢を整えた。

（イ）　入所者へのサービス向上に取り組み「公平」「公正」「中立」な施設運営に努めており、苦情申し立ては０件であった。また、福祉サービス第三者評価の自己評価を職員全員で行い、更なるサービス向上を目指し、既存マニュアルの見直しを行った。

（ウ）暴力防止のための予防教育プログラムとしてＣＡＰプログラムを実施し、職員、母親、子（幼児も含む）それぞれに合わせたワークショップに参加した。

イ　母子を対象とした支援について

（ア）　母親一人ひとりに応じた適切な支援を行う為に、定期的に面談を実施し支援メニューを考えた。利用者の主体性を尊重して、自身でできることには取り組んでもらい、必要な場合に専門職が関わるようにした。施設内だけでなく、行政その他の福祉サービスも広く利用し外部からの支援も受けることで退所後の生活に繋げられるように努めた。

アフターケアとしての架電も継続し、退所後も関係性が途切れないように努めた。

（イ）　学習室（学童保育）では、専門機関による子どもの権利研修（ＣＡＰプログラム）など子どもの権利である意見表明権を子どもへ伝えるなどして『子どもサミット』を実施し、サミットで出た意見や

要望の内、デイキャンプの実施など46件を実現した。

遊びにおいては、入所児童ならびに地域児童が気軽に過ごせる場として学習室を開放した。令和６年度の地域児童利用者数は延べ774名だった。施設内での行事に関しては可能な限り、地域児童も受け入れた。

また、近年の児童によるSNS活用状況を鑑みて、令和６年度もメディア研修を小学１年生と小学２年生以上に分けて実施した。研修には10名が参加し、ネットリテラシーを学んだ。

地域の不登校児童（退所者を含む。）が家族以外との接点を持てる居場所（『こんね。』）を実施し、行事（ランチパーティ）も３回実施するなどして延べ227名の利用があった。保護者からの利用に関する相談や養育相談にも応じた。

（ウ） 心理面では、不安が増大したり日常生活に支障をきたすと思われる場合は、同意を得て病院受診に同行するなどした。

昨年度に引き続き、各区役所を訪問して顔の見える関係づくりに努めた。

（エ） 保育室では、縦割り編成で家庭的な雰囲気を大切にする中で、一人ひとりの子どもと向き合い、不安・甘え・要求を受け止め、丁寧な関わりで成長を見守り、年齢に応じた活動（戸外活動・野菜作り等）や遊び（知育玩具）を提供した。特性のある子どもには発達段階に応じた支援を行い、すべての子ども達がのびのびと楽しめる保育を実践した。

定期面接では子育ての悩みや不安を聞き、必要に応じて登室支援や入浴支援を行った。また、母親の頑張りを認め、子どもの成長した姿を共に喜び合える時間になるよう努めた。母親の希望により、認可保育所等の見学の同行や申込書の作成支援を行った。

保育室を利用した乳幼児は32名で、退所児８名・卒園児１名・寮外の保育所に移った幼児が19名で、継続利用の乳幼児は４名であった。

（オ） 給食室では、福岡市が作成する献立を活用し、旬の食材や郷土料理、行事食を取り入れ、年齢や発達に合った調理形態で提供した。５月はアンパンマンライス、９月はうさぎライス、12月はリースピラフ、3月はひな人形おにぎりなど、行事にちなんだメニューをランチプレートに盛り付け、園児に喜んでもらえるように努めた。離乳食がスタートする母親からの相談に応じ、様子を見て声掛けするなどして支援した。食育として毎月の給食便りを配布したり、そら豆の鞘むきやとうもろこしの皮むきなどの給食室の手伝い、叩きキ

ュウリやスイートポテトなどのクッキング、日本の伝統行事や行事食に触れる機会をつくるなどして、食を営む力の向上に努めた。

② 小中学校との連絡会について

小中学校との連絡会を概ね隔月に１度実施し、各世帯の様子や学校での様子を担任と共有しながら学童児の健全育成に努めた。また、退所した児童についても可能な限り情報共有に努めた。

③ 地域との交流と支援について

寮内行事への招待を実施し、ハロウィン、クリスマスのイベントに地域の子どもたち延べ13名が参加した。毎月公民館で開催される「あったかキッチン」（子ども食堂）をはじめ、校区の子ども育成会が主催する行事について入所児童や母親に案内した。

地域支援として、地域清掃に職員・入所者が参加したほか、小田部中央公園内の花壇に花を活ける活動を継続して実施した。

④ ボランティアについて

寮内の中高生を対象に、ボランティア講師が英語を指導する「英語塾」を実施し、退所者を含む４名が受講した。また前年度よりボランティア講師と協働する学生ボランティアの受入れを行い、３名が活動した。

⑤ リスクマネジメントについて

消防計画に基づく定期的な防災訓練を実施するとともに、防災時の備蓄品を整備し、新たに防災用ポータブル電源を備えた。また、安全計画に定めたヒヤリハットの収集や不審者対応訓練を実施し、事故や事件の予防に努めた。

⑥ 施設の維持補修について

ア．南棟（寮舎）

（ア）非常扉取替工事

南棟の非常扉のうち、完全に閉まらない緊急性の高い箇所（東側１階～３階）を新しいものに交換した。

イ．北棟（管理棟）

（ア）職員休憩室 エアコン設置工事

２階職員休憩室にあるキッチンにエアコンを設置した。

（イ）保育室・職員靴箱交換工事

経年劣化により破損したり開閉できない扉のあった既存の靴箱を

撤去し新たに設置した。

（ウ）学習室 ホワイトボード設置工事

学習室にあった既存の黒板をホワイトボードに交換した。

（エ）埋没消火管復旧緊急対応工事

園庭にある地中消火管から水漏れが発生したため、緊急に復旧工事をした。

（２）参考資料

① 令和６年度事業実績報告書

② 年間行事／会議・研修実績（法人本部を含む）